

2021年3月期 第1四半期決算説明会（WEB ミーティング）主な質疑応答

日 時：2020年8月17日（月）17:00～18:00

登壇者：代表取締役 穂田 誉輝

取締役経営管理本部長 沖本 裕一郎

Q. 有料店舗数の減少の背景および今後の見通しを教えてください。

A. 有料店舗数の減少については、サービスの解約および一時的な休止によるものです。

尚、決算説明資料にも記載の通り、この減少は一時的なものとして捉えており、今後一時的な休止となった店舗の再開および新規獲得により、9月にかけて回復していく見通しです。

Q. 混雑ランプは今後どのように収益貢献していきますか。

A. 混雑ランプの導入に係る有料プランは既にクライアントに提案を開始しています。

詳細は、次回以降の開示でお知らせしていく予定です。

Q. 有料店舗数の減少によって売上が下振れするリスクはありますか。

A. 新型コロナウイルス感染症の今後の拡大状況次第で、売上は上振れ下振れのいずれもあり得ると考えています。

Q. 今後の新規有料店舗の獲得対象はどの業態がメインになりますか。

A. 小売業態のうち、特にドラッグストアへの販売強化に向けて鋭意努力しております。

Q. 2020年3月期第4四半期で計上されたスポット売上の内容を教えてください。

A. 地域情報関連のIT活用支援に係る売上高であり、具体的にはアプリの開発等のサービス提供となっております。

Q. 足下の環境、業績への率直な評価と、中長期の成長に向けての手応えを教えてください。

A. 足下の業績は当社の想定内で進捗しております。上場後、検討に資する優良な提案も多く頂戴しており、中長期の成長に向けた手応えを感じています。

Q. 6月末時点の要員数および今期の採用状況を教えてください。

A. 決算説明資料に記載の通り、2020年6月末の従業員数は99名となっております。上場により採用環境は良化しており、積極的に採用を進めていることから、最終的に、採用数は計画より上振れる可能性もあると考えております。

ロコガイド

- Q. 想定からズレた要素として良い面、悪い面、それぞれどのようなものがありましたか。
- A. 悪い面はそれほどございませんが、引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況は注視していかなければならないと考えております。新型コロナウイルス感染症の拡がりについて言えば、今後どうなるか見通せないことが悪い面ではありますが、一方ではビジネスチャンスにもなり得るため、柔軟に対応していく所存であります。

良い面は、上場後に多くの情報をもたらされていることです。事業アライアンス、新規事業の実現可能性が大きく広がってきています。

以上